慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	1915年「朝鮮物産共進会」の構成と内容
Sub Title	A study on the Kang Kyoung-Ae's novels in the late 1930's
Author	李, 泰文(Lee, Tae-Moon)
Publisher	慶應義塾大学日吉紀要刊行委員会
Publication year	2003
Jtitle	慶應義塾大学日吉紀要. 言語・ 文化・ コミュニケーション No.30 (2003. 3) ,p.25- 61
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN10032394-20030331-0025

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

1915年「朝鮮物産共進会」の構成と内容
The Composition and Contents of "Chosun Products Exhibition" in 1915

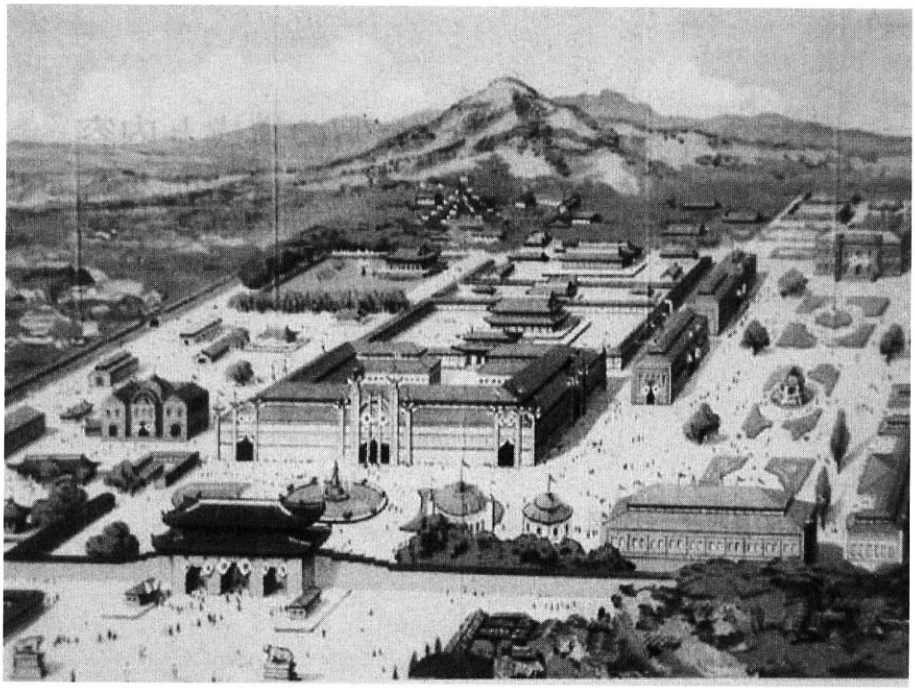
李 泰 文

はじめに
1. 共進会の目的とその意図
2. 共進会の主要施設
3. 企画行事の内容とその特徴
4. 観覧客の割合とその性格
終わりに

はじめに

1915年初代総督寺内正毅の治績をたたえ，また施政5周年を記念するため「朝鮮物産共進会」が景福宮で開かれた。京城に住んでいる日本と朝鮮の商工人達が主な会員である京城協賛会が主催したが，表の主催側とは別に総督府が資金や場所などを積極的に支援した。総督府は補助金12,800圓を出し，朝鮮皇室も6,200圓の下賜金を，そして協賛会の名誉会員，特別有功会員，特別会員，正会員，副会員，賛助会員たちが醵出金75,797.38圓を出した。[1] 総経費の場合は，京城府の予算より50万圓，そして各地方庁における地方費支出額及び民間寄附で成立した各地の協賛会の費用を含めて70万圓以上が掛った。

本論文において「朝鮮物産共進会」の構成とその内容を中心に客観的な資料を扱うことにした。植民地朝鮮における‘博覧会’の意味や機能についてはすでに述べたこともあるので，[2] ここでは今まで注目されなかった「朝鮮物産共進会」の写真や新聞記事を中心に，その実相を紹介したい。



1. 共進会の目的とその意図

1915年朝鮮物産共進会の会場は京城の景福宮と仁川の水族館であった。一方，同じ時期に「家庭博覧会」が毎日申報社の主催で開かれた。[3] 特に，朝鮮の正宮であり，朝鮮歴史や伝統のシンボルである景福宮が共進会や博覧会のメイン舞台として使われることは大きな意味をもつものであった。すなわち，朝鮮王朝の中心部を公園化し，一般人に公開することは伝統との決別を意味すると同時に近代との接触であったと言えるだろう。[4] こうした景福宮での共進会・博覧会開催は，総督府の朝鮮での近代化政策をあらわす象徴的な出来事であった。

この章では朝鮮物産共進会について当時の記録を中心に概観する。

（1）総督府施政の成果を展示

まず，この共進会は1910年以後5年間の植民統治の成果を広報することが目的であった。それは，開催趣旨をみると次のように明らかである。特に，朝鮮人には新旧施政を比較対照する方法を通して日本がいかに優れているかということを理解させ，また内地人には植民地開拓の必要性と実相を見せることによって，安定的な植民地統治の踏み台を得たと言えるだろう。

朝鮮総督府施政以来五年の星霜を閲し今や諸般の施設経営の基礎漸く確立し産業其の他文物の改善進歩の蹟見るへきものあり此の秋に方り共進会を開催して普く朝鮮各地の物産を採集陳列し各般の施設状況を展示し以て一面に於ては生産品並生産事業の優劣得失を審査して当業者を鼓舞し一面に於ては新旧施政を比較対照して朝鮮人に新政の恵沢を自覚せしめ将又此の機会を利用して多数内地人を招致し朝鮮実状の視察を求むるは向後朝鮮の開発上資益する所多かるへし恰も大正四年は朝鮮総督府施政五周年に相当するに依り乃ち施政五年記念の趣旨を以て本年秋季を期し朝鮮物産共進会を京城景福宮に開催することとせり而して本共進会計劃の要項を示せは左の如し

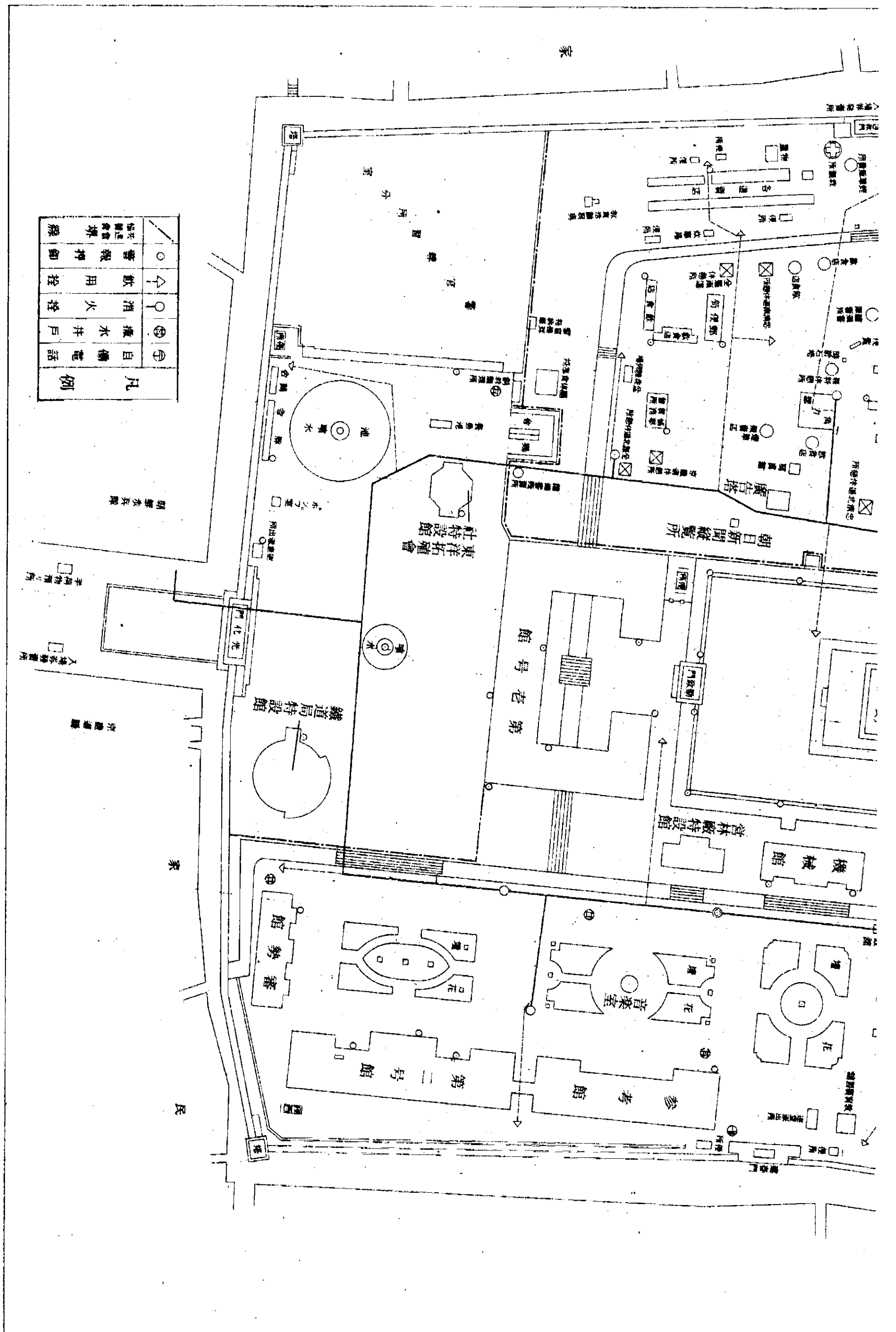
一 本会の施設は華奢を去り質実を旨とし共進会の実を没却するか如きことなきを期す

二 出品は単に朝鮮の物産のみならす産業，教育，衛生，土木，交通，経済等に関する施設及統計をも網羅し産業其の他文物の実況及其の改善進歩の状を展示するに努む

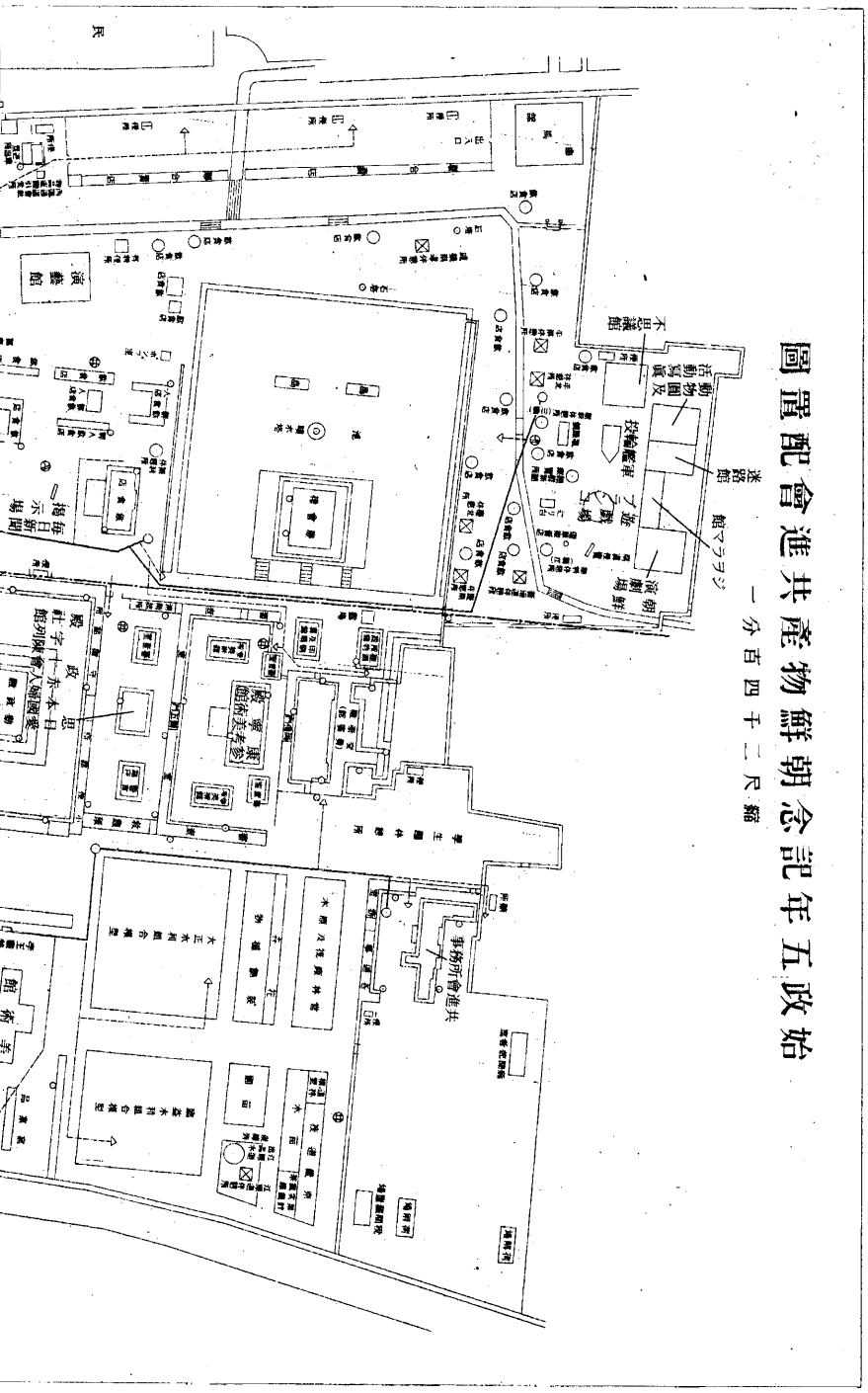
三 出品は部類を分ち尚其の部類中の種別に従ひ道毎に出品を区分し其の対照を明かならしむると共に別に道全体として其の状勢及施設の状況を対照比較し得るの出品を為す

四 内地生産品の出品は朝鮮の生産業に必要なりと認むるもの及外国輸入品に対し販路拡張の必要ありと認むる日用必需の物品に限り本会に於て出陳を承認す[5]

このような態度は，寺内総督の場合も変わらない。すなわち，総督府の朝鮮統治は植民統治ではなく，恩恵を施す[施政]政治の始まり[始政]であった。彼にとって，総督統治とは朝鮮半島と民衆を禍乱と塗炭から救うものであり，したがって，施政5年とは進歩と発展の歴史を意味していたのである。



図版C-1　朝鮮物産共進会配置図


圖置配會進共産物鮮朝念記年五政始
一分百四千二尺縮
不思議館
活動寫眞及動物園
迷路館
館マラヲジ
朝鮮演劇場
遊戯場
遊戯車
投輪艦
演藝館
毎日新聞
政
思
事務所會進共

総督府施政以前の朝鮮半島をみると，いつも東洋禍乱の根源となって，民衆は塗炭の苦しみを味わい，山野は荒廃し，産業は疲弊して，国運が日々誤った方向へいく。…（中略）…この5年間の進歩を具体的に見せることは，産業を振興させる最も近い道である。また朝鮮を世界に紹介する良い機会でもある。百聞は一見に如かずというが，この共進会はいかなる言葉よりも端的に朝鮮の近代化とは何かを示すものであり，　共進会開催の目的もまたここにある。…（中略）…十三道のさまざまな物産を一ヵ所に集めて比較展示すれば，事理のわからない婦女子や子供達も一度見たら簡単に新政の効果と進歩が分かるはずである。この5年間，新しくできた農産工芸品は非常に多かったので，これを実際に目撃する内地人と朝鮮人は，衷心で勤勉力行の効果を悟り，将来に，より一層奮励努力することを誓ったはずである。…（中略）…朝鮮で生産する者は，必ず朝鮮人の需要を待つのではなく，輸出貿易を増進することこそが国家を豊かにさせるのである。したがって，共進会を観覧する者は是非この点に留意しなければならない。[6]

（2）朝鮮産業開発への期待

結局，共進会の目的は朝鮮社会の産業を開発し，それを発展させることにあったと言える。しかし，それはあくまでも「植民地」朝鮮の建設であることを忘れてはいけない。米をはじめ，安価な原料や労働力を確保し，それを利用して商品を生産すればそこには大きな利益が生じるのである。こうしたここは内地の資本家にとっては，大きな魅力を感じるものであり，つまり，博覧会と共進会はまさにこうした内地の資本家の関心を集めて朝鮮という市場に参加させたかったのであろう。

一般に共進会と博覧会とは，産業の改良を模索することと共に人々の勤勉勤労を養成することにその目的がある。総督府の共進会開催は，将来における朝鮮半島の産業開発を期待するというのが直接的な目的であるが，間接的には朝鮮民衆が安逸を捨てて奢侈に走らず一生懸命働ければ，国の富が増加し，個人の福利も増大することを理解させる為にあったのである。朝鮮の人々はこうした共進会によって朝鮮の現状が過去5年間にどのように変化したのか，その様相を知ることができるだろうし，全朝鮮の進歩した様子もまた一目瞭然にわかるだろう。[7]

図版B-1　朝鮮物産共進会・ポスター

2. 共進会の主要施設

この章では，実際の建物の写真とその内容，そして特徴などを概観する。まだ紹介されていない資料が多いので，資料とともに当時の新聞記事も引用する。

（1）進列館とその展示物[8)]

①第一号館

第一部農業, 第二部拓植, 第三部林業, 第四部鉱業, 第五部水産, 第六部工業の各部類とす

②第二号館

第七部臨時恩賜金事業, 第八部教育, 第九部土木及交通, 第十部経済, 第十一部衛生及慈恵救済, 第十二部警務及司獄の各部類とす

③審勢館

各道に於ける過去五年間の道勢推移の状況即ち各種の施設並其の成績を示す

④美術館

絵畫, 彫刻, 刺繍, 漆器等の現時における美術品及考古資料を陳列す

⑤機械館

諸機械を陳列し運転して観覧に供す

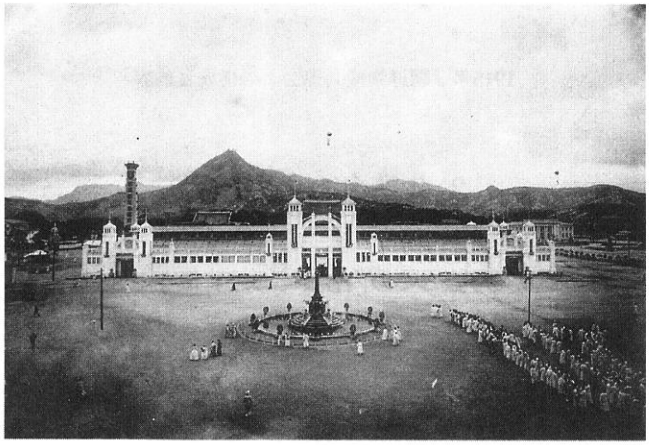
⑥勤政殿廻廓

農具, 果実, 蔬菜, 花卉, 盆栽, 挿花, 漁具, 模型を陳列す

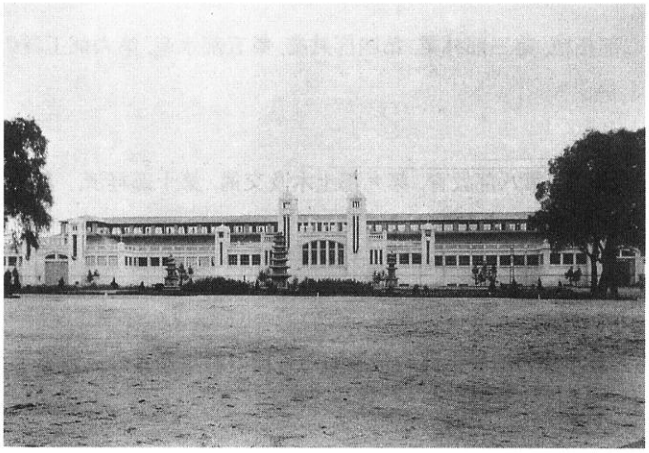
⑦思政殿

赤十字社の出品を陳列す

⑧康寧殿

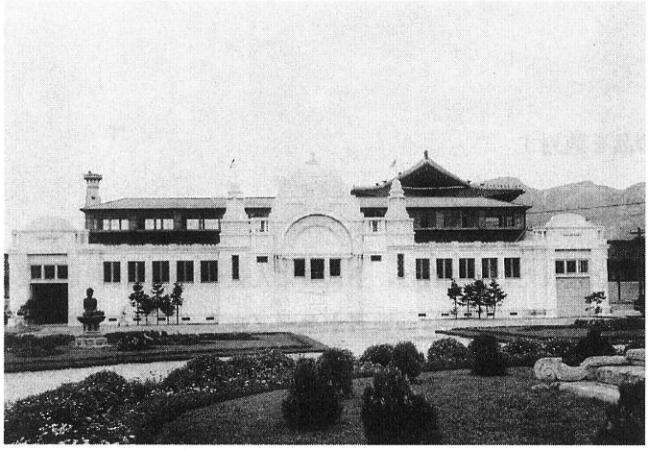


図版A-1　第一号館



図版A-2　第二号館

図版A-3　審勢館



図版A-4　機械館

図版A-5　美術館

図版A-6　音楽堂

写真及参考美術品を陳列す

⑨鉄道局別館

鉄道特設館ともよばれたこの施設は，子供達に人気があったと思われる。もちろん，大人にも話題になったが，その理由は観覧客がケーブルカーに乗り，館内を廻りながら見物することができたためである。3階の建物に，さらに高い塔が立てられたので遠くからも見ることができた。後に述べる広告塔は高さが40mあり，鉄道特設館の尖塔部分はその倍近くあったため，当時の朝鮮社会においては，おそらく最も高い人工建物であったと思われる。こうしたモノはただ珍しいモノとして受けとめられただけではなく，このように近代化が生み出した「高さ」として朝鮮社会を圧倒したのではないだろう。

> 鉄道特設館にあるケーブル式館内巡廻鉄道の軌道が竣工され，おもちゃに似たやや小さい2・3台の列車が材料を積載し運転する様子は特に目立った。[9]

> 20日の夜から夜間も開館するになった鉄道特設館だが，その盛況ぶりを見に訪ねると，きちんと飾られた館内は，電灯が明るく光っており，1階の両側にジオラマ式で描かれた京元線と湖南線の前には，観覧客が列をつくっていた。ケーブルは，夜間には運転しないとのことなので，線路に沿い徒歩で京釜線南大門から上がっていくと，線路わきの風景は昼間の光景よりもっと実景を思わせるものだった。自分の身はいつのまにか2階にあった。そこでは，装飾電の光が共進会の会場内外で花のように光っていた。その光が星のように輝くのを見ると，人々は我を競って，続々3階上の屋上庭園に昇りはじめる。屋上より眼下に広がる京城市街は，不夜城と呼ぶに実にふさわしい。[10]

⑩営林廠別館

⑪参考館

参考品として出品し得へきものは朝鮮外に於て生産したるものに属し其の種目は内地及外国製品に在りては機械及器具類，内地製品に在りては織物，遍組物，糸，紙，窯業製品，金属及金属器，木竹製品，漆器，文房具及玩具，雑工品，農蚕具，漁業用具，車輛の各類に限れり尤も右以外の物品と雖特に有益と認むるものに対しては其の出陳を承認することあり

陳列館舎総坪数は四千五百五十坪にして其の外式場（勤政殿）貴賓館（交泰殿）事務室（慈恵殿）を合せ五千二百二拾六坪あり

⑫牛舎鶏舎豚舎

（2）場内施設[11]

陳列館以外に，場内には次のように様々な施設が設けられていた。これらの施設は，単に見るモノではなくお金を払って消費する，いわゆる余暇の文化として受け入れたのではないかと思われる。映画，演劇から曲馬団，マジック，ショーなどまでさまざまな公演の見せ場が観客を魅力し，話題になったのである。このように，これらの施設は朝鮮社会において本格的な大衆文化の一つとして紹介され，消費されたのである。すなわち，景福宮は一時的に，朝鮮や京城の盛り場としての役割を果していたと言えるだろう。

①演芸館

本館ハ迎秋門内ノ最モ広闊ニシテ群衆ノ集散ニ便利ナル地点ヲ選ヒテ建設シ四囲ニ於ケル風物トノ調和ヲモ考察セリ其建築ハ「セセツション」式ニシテ外部ハ漆喰塗トシ総建坪二百二十九坪余アリ…（中略）…本建築ノ特色ドシテ見ル可キハ主トシテ欧美ノ長所ヲ採り之ニ我国ニ於ケル劇場固有ノ花道，奈落ヲ設ケ和洋両劇及各種演芸ノ興行ニ適応セシメ且ツ活動写真映写ニモ便ナラシメタルニ再リ…（下略）

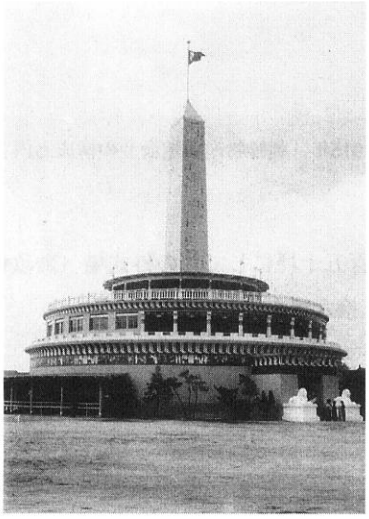
②広告塔，探照灯

本塔ハ双盤二十八尺角高サ百三十尺ノ「セセツション」式建築ニシテ本会事務所ノ東側広場ニ建設シ塔頂ニハ一万五千燭光二基ノ探照灯ヲ備へ連夜場内及市中ヲ探照セリ

③売店

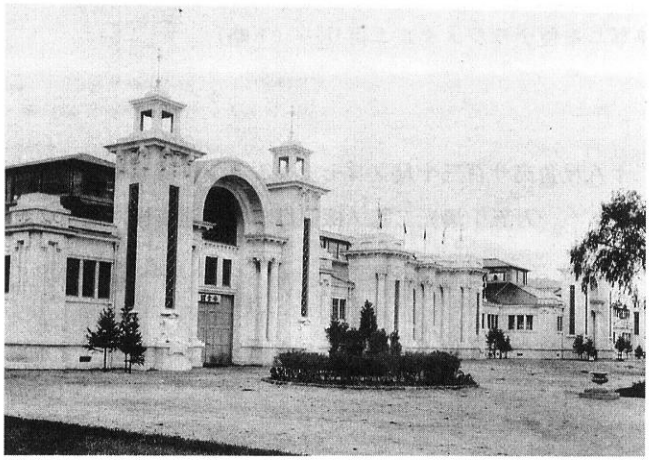
迎秋門内北方ニ位シ総建坪約百九十二坪ノ長家建ニシテ屋根ハ「マルソイド」葺，周囲ハ漆喰塗トス

④本会事務所

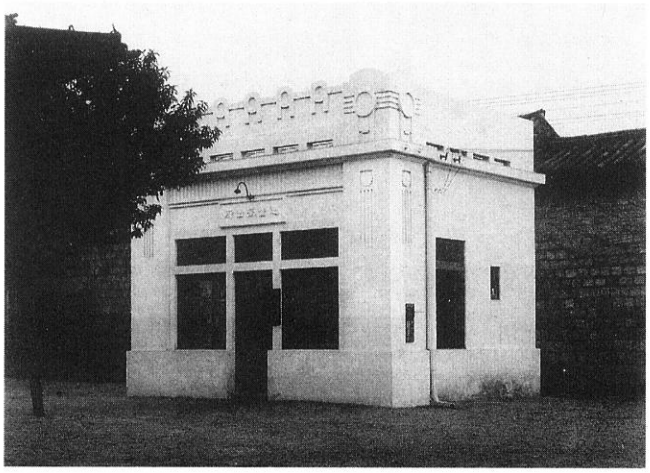


図版A-7　鉄道館

図版A-8　営林廠特設館

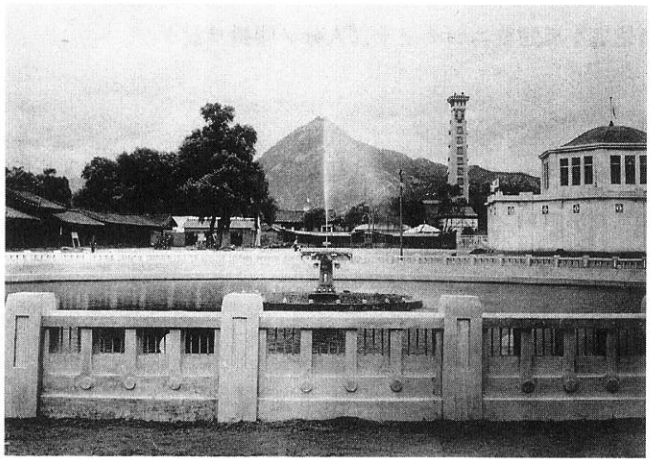


図版A-9　参考館

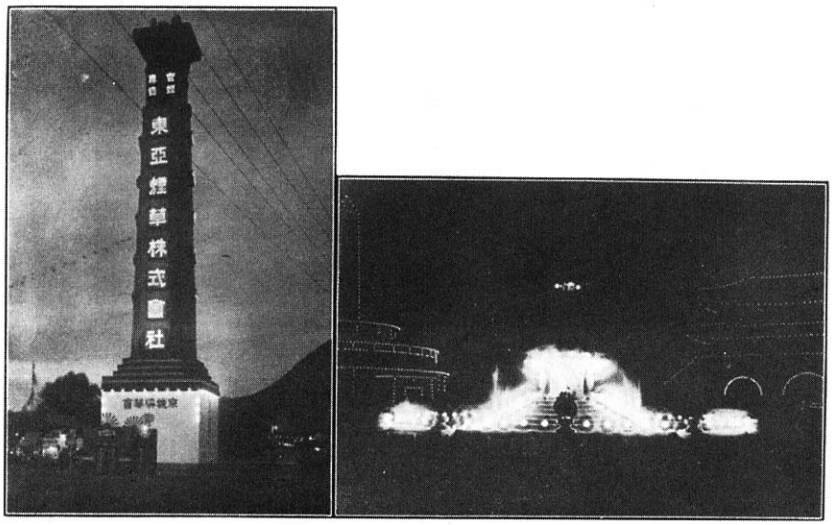


図版A-10　会場内交番所

図版A-11　東洋拓殖会社特設館



図版A-12　畜産館前噴水池



図版C-2　場内広告塔の夜影／大噴水塔及び光化門，鉄道館のイルミネーション

場内演芸館前共進会第一号館西方ニ位シ旧朝鮮家屋ヲ修繕シテ之レニ充テ建坪二十二坪五合ニシテ外ニ附属小使部屋及便所ヲ設備ス

⑤団体食事場

総天幕張リニシテ建坪四十八坪アリ，天幕内ニハ百八十人分ノ食卓及腰掛ヲ設ク

⑥無料休憩所　弐箇所

各五坪ノ八角建庭亭風建築ニシテ三十二人分ノ腰掛ヲ設ク

⑦高等有料便所

演芸館裏手ニ在リ建坪十一坪八合ノ洋式建築ニシテ外部ハ漆喰塗トシ手洗場ニ化粧品ヲ備ヘ入場者ノ随意使用ニ供シ一回ノ料金ヲ金弐銭トス

⑧野外教育活動写真場

五坪ノ映写台及百五十人分ノ観覧用腰掛ヲ設ク

⑨朝鮮演芸場

建坪百二十坪ニシテ屋根ハ天幕張周囲ハ下見板張トス

ここでは，パンソリや宮中楽など様々な伝統公演が舞台に上がった。特に，当時の有名な名唱であった金昌煥，李東伯などが共進会においても公演したことは注目すべき点である。珍しい，新しいモノだけではなく，伝統的なモノも朝鮮の人々の心をつかむには必要だったと言える。つまり，朝鮮的なモノや文化・歴史も博覧会や共進会を成功させる重要なアイテムであったと思われる。[12)]

⑩不思議場

建坪六十九坪ニシテ外部ハ下見板張トス

これらの他に，共進会平面図の左上にある興行場には，曲馬館，動物園，迷路館，活動写真館，軍艦輸投遊戯，覗眼鏡，ブランコ廻りなどが設置された。そして，さまざまな便宜施設も以下のように設けられていた。

⑪光化門及附帯要所装ノ飾

光化門ハ美麗ナル彩色「モール」ヲ以テ其前面両側勾欄ノ個所ハ箱形連柱ニ小国旗及布帛ヲ以テ装飾ス

ブランコ廻り（遊戯具）	一個所	公衆用ベンチ	百七十脚（共）
辷り台（遊戯具）	一個所	掲示板	一個所（共）
各種案内標	九本	公衆用便所	五個所
水呑場	二個所（内一個所共）	投書函	十個
水道共用栓	五個所（共）		

備考（共）ハ共進会ニ於テ設備シタルモノ以下倣之

⑫場内ニ於ケル各所ノ施設

郵便局	一個所	各道無料休憩所	十一個所
測候所	一個所	飲食店	四十個所（内十八個所在来ノ朝鮮家屋ヲ賃貸ス）
赤十字社救護所	一個所	各種興行物	五個所
手荷運搬引受所	一個所	新聞縦覧所	二個所
広告ベンチ	五個所	新聞掲示板	一個所
煙草販売所	三個所	写真便覧	二台

（3）場外施設

共進会の成功につながる雰囲気を作り，また共進会を広報するためメイン会場の景福宮だけではなく，場外にも休憩所や案内所などが設けられ，灯竜，万国旗などが飾られた。

①光化門通春日灯竜

正門前ヨリ光化門通電車線路手前ニ至ル大道路ノ両側人道ト車道トノ分界点ニ春日灯竜大小八十基及五重灯竜二基ヲ建設ス

②団体休憩所，附属案内所

南大門駅前内国通運会社京城支店隣接空地約三百六十坪ノ一割ヲ団体休憩所ニ充テ内八十坪ヲ総天幕張トシ約三百人分ノ腰掛ヲ設ケ附属案内所ハ建坪八坪ノ洋式木造建築トシ外ニ瓦斯湯沸所及便所ヲ設ク

③漢陽公園探照灯

公園広場ニ灯基ヲ設ケ一万五千燭光一基四万五千燭光一基（十月十日以降）ノ探照灯ヲ備ヘ場内ノ該灯ト呼応シテ連夜市中ヲ探照ス特ニ大燭光ノ分ハ遠ク数哩ヲ照シ一大偉観ヲ呈セリ

④飛行機格納庫（自十月一日 至同十七日）

位置ハ竜山練兵場ニシテ百四十九坪ノ「バラック」式建築トシ外部ハ下見板張トス

⑤光化門前切符売場（共）

建坪十坪ノ純朝鮮式建築ニシテ出札口八個所ヲ設ク

⑥迎秋門前切符売場（共）

建坪一坪ノ洋式建築ニシテ出札口一個所ヲ設ク

⑦南大門ノ装飾

美麗ナル彩色「モール」及小国旗ヲ以テ装飾ス

⑧各町ノ装飾

共進会開期中ニ於ケル京城府内各町ノ装飾ハ可成盛大ニ執行ノ方針ヲ以テ本会ニ於テモ予メ考慮スル所アリ概要左ノ希望条件ヲ提示シ各町委員ヨリ夫々受持区域ヲ勧誘シタル結果諸種ノ意匠ヲ以テ施設セラレ会期中市内ノ景気ニ一般ノ盛況ヲ添ヘタリ

（イ）会期中ハ可成各戸共国旗ヲ掲揚スルコト

（ロ）表面ニ「祝共進会」文字表面ニ京城協賛会ノ紋章ヲ現ハシタル提灯又ハ行灯（一町内ハ同一ノモノ）ヲ調製シ南大門通，鐘路通，大平町通，黄金町通，長谷川町通，漢江通等ノ大道路ニ在テハ車道ニ接シタル人道ノ一端，車道ト人道トノ区別ナキ所ハ軒先キヲ距ル相当ノ地点ニ吊シ台ヲ設ケテ之レヲ掲揚シ其他ノ小道路ニ在テハ軒先又ハ街上ニ掲出スルコト

（ハ）町ノ辻其他道路ノ要衝ニハ町内聯合ニテ高ク街道ヲ横断シタル大行灯ヲ吊シ又ハ「アーチ」ヲ設ケ其他電灯等ヲ以テ装飾スルコト

（4）電灯装置

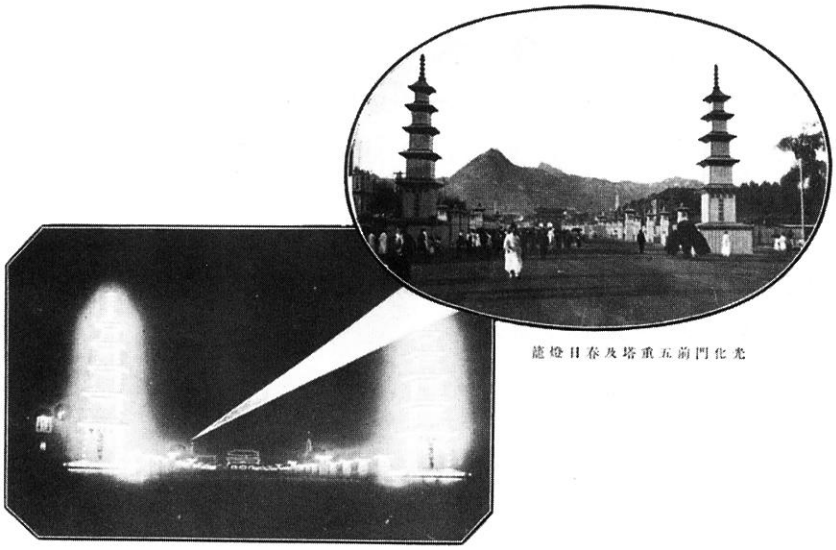
共進会と博覧会のイメージとして，特に大規模の照明やイルミネーションが印象的であったことは，当時の新聞記事を見るとすぐわかる。今まで経験したことがない光の魅力について，新聞記事は「花畑」や「不夜城」と比喩した。[13] 主催側はそれほどの力を入れていたといえるし，「非日常的な空間」あるいは「近代の明るさ」を演出したのである。具体的な様子は以下のようなものであった。

會場内ニ於ケル各種電灯取付総数ハ千燭光灯六個六百燭光灯十五個普通灯六千八百二十一個ニシテ内装飾電灯ノ数左表ノ如シ

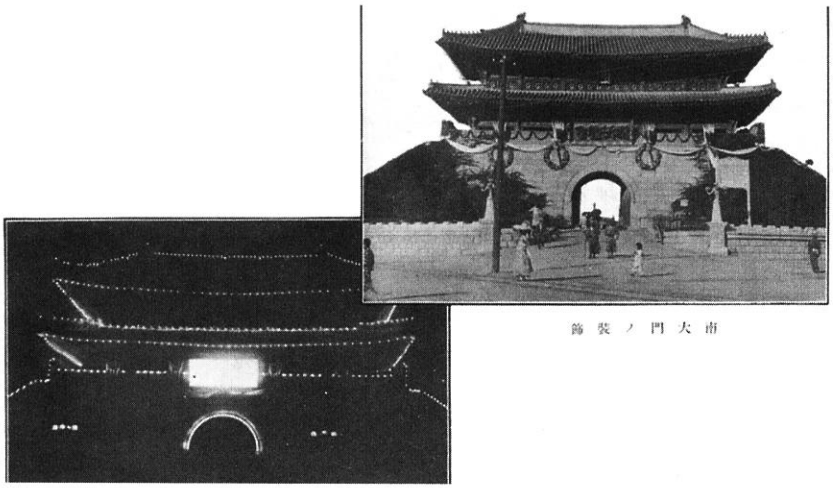
装　飾　電　灯

イルミネーション

会　場　内		会　場　外	
場所	燈數	場所	燈數
演藝館	252	光化門通 灯龍	1,040
慶會樓	1,295	南大門	1,149
同池小島	69	普信閣	114
同池噴水塔	32		
謹政殿廻廊裏庇	172		
光化門	853		
同城壁	317		
同見張樓	512		
迎秋門	400		
小計	3,902	小計	2,303
		合計	6,205



図版B-5　（上から）光化門前五重塔及び春日灯籠／同イルミネーション及びサーチライト



図版B-3　（上から）南大門の装飾／同イルミネーション

すでに，植民地朝鮮の近代は「高さの近代」であったと説明したように，またそれは「明るさの近代」でもあった。つまり，夜を照らす瓦斯灯や電気灯によって，近代と対立する中世の暗黒がはらわれたのである。いいかえば，数多い照明は近代の啓蒙の象徴であると言えるだろう。

3．企画行事の内容とその特徴

（1）場外行事の開催

前に景福宮での「朝鮮物産共進会」と共に，毎日申報社の「家庭博覧会」や仁川での水族館もオープンしたと述べた。共進会の開催時期に合わせて集中的にこのような行事が開催されたのは，人々の注目をひいて少しでも多くの観覧客を集めようとしたためである。それで，博覧会とはまた関係なく様々な大会もひきつづき開かれ，その結果社会指導層にある内地人と朝鮮人がこぞって京城に集まったのである。彼らは自分達の大会とは別に，共進会を直接観覧したのであり，共進会の一般の人々への影響力は非常に大きかったと考えられる。

①各種大会の開催

共進会ヲ機トシ京城ニ於テ開催シタル各種大会左ノ如シ

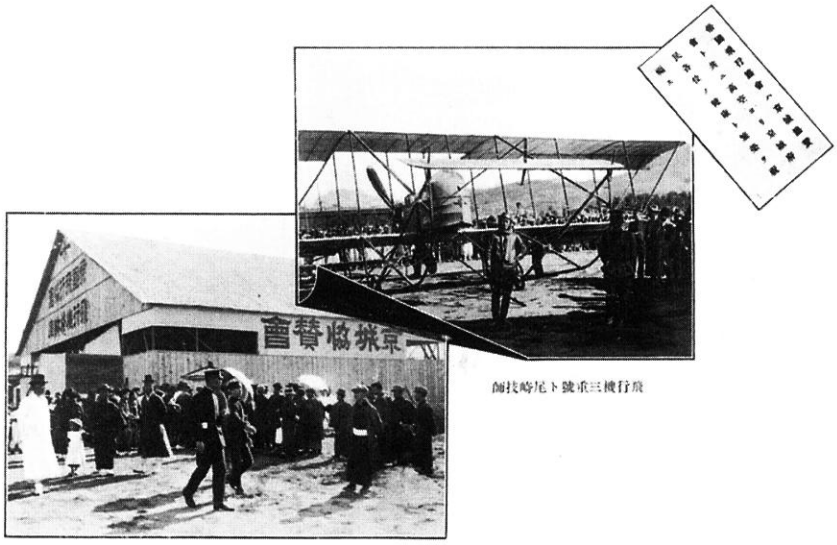
開催日時	会　　名	会　　場	出席人員数
9月15日	全道神職大會	南山公園	10
9月16日	全國料理業者大會	朝鮮ホテル	290
9月18日	全國金物商職合大會	京城ホテル	90
9月23日	全國新聞記者大會	朝鮮ホテル	125
9月25日	内外鑛業者聯合懇談會	京城ホテル	200
10月2日	日本赤十字社朝鮮本部	昌德宮秘苑	8000
	愛國婦人會朝鮮本部 總會		
10月3日	鐵道一千哩祝賀會	景福宮	1500
10月4日	朝鮮酒造業者大會	中央試験所	50
10月4日	朝鮮移入酒商大會	日本人商業会議所	30
10月8日	朝鮮水産懇談會	中央試験所	200
10月10日	朝鮮醫學總會	朝鮮総督府医院	300
10月10日	東洋協會支部大會	京城ホテル	300
10月10日	朝鮮藥學總會	研究会講堂	100
10月13日	朝鮮金融業者大會	朝鮮ホテル	100
10月14日	運輸業者大會	京城ホテル	170
10月15日	全國商業會議所竝滿洲實	朝鮮ホテル	60
	業團聯合懇談會		
10月18日	朝鮮農會總會	工業伝習所	740
10月23日	全鮮醫生大會	昌德宮秘苑	600

②飛行機

共進会ノ盛況ヲ添ヘ併セテ朝鮮人ノ智識ヲ啓発スル為メ帝国飛行協会ニ交渉ノ上同会所属七十馬力「モーリス，ファーマン」型飛行機三重号ト共ニ同会主事澤柳猛雄及技師尾崎行輝氏ヲ招聘シ十月一日ヨリ同十七日迄竜山練兵場ヲ起点トシ共進会場訪問飛行ヲ為サシメ其ノ巧妙ナル飛行振ハ一般ノ好評ヲ博セリ

学生其ノ他見学者ノ便ヲ図り竜山練兵場格納庫ニ於テ係員説明ノ下ニ飛行機機体及附属品ノ観覧ヲ為サシメ入場制限ノ必要上左ノ料金ヲ徴収セリ

一人　金五銭　　学生，軍人，小児　金参銭（三十人以上ノ団体ハ本項料金ノ五割引）



図版B-4　（上から）飛行機三重号と尾崎技師／龍山練兵場飛行機格納庫

博覧会や共進会の「近代の高さ」については，すでに言及したが，飛行機はまさにその「近代の高さ」を一番象徴的に見せるモノであった。共進会の期間中には，総９回（10月1日～10月17日）の航空機の飛行があり，また9,747名の人々が格納庫を訪ね，機体を直接観覧した。さらに，彼ら観覧客が払った料金は，392,075圓にまでのぼった。

（２）場内の行事

様々な施設がハードウェアであるとすれば，その中身の行事はソフトウェアといえるだろう。例えば，演芸館の場合は，番組によってその日の入場客の数が大きく変った。すなわち，これらの行事内容は，観覧客の数を左右する大きな役割をしていたと言える。その具体的な数字は，４章で概観する。

①野外無料教育活動写真

場内各道売店南場ノ空地ニ野外無料教育活動写真場ヲ設ケ映畫ハ主トシテ各地風俗，工場其ノ他ノ作業状態等娯楽及知識ノ涵養ニ資益アルモノニテ孰モ関係名所ノ無料貸附ニ係ルモノヲ用ヰ技師ハ朝鮮総督府鉄道局ヨリ派遣セラレ一般夜間入場者ニ対シ無料ニテ観覧セメシタリ映画種目及映写日数左ノ如シ

映画種類

石川島朝鮮所作業ノ実況

芝浦製作所機械製作ノ実況

三越呉服店特写東海道汽車旅行

同　　滑稽風琴ノ男児

古川鉱業会社所属足尾鉱山ノ実況

南満洲鉄道株式会社特写満洲風俗

三井鉱山会社所属三池炭鉱ノ実況

大日本麦酒会社麦酒醸造ノ実況

日本製鋼所作業ノ実況

ここでは，計35回（９月15回，10月20回）の上映会が開かれた。これら映画は，大部分産業現場の姿をスケッチしたものだが，中には異国的な風物を紹介したものなどもあった。すなわち，それらは産業意欲を高め，世界に対する関心を誘導する機能を果したと見られる。

②特別企画行事

特別企画行事は，非常に効果的だったと言える。展示物を見物することに勝るとも劣らない高い人気があった。すなわち，特別行事だけを見物するために共進会会場を訪ねる人も多く，その番組内容も近代的なものが一般的だった。

各種催シ物

◎９月11日 開場祝賀賑ヒ

共進会ノ開場ヲ祝シ併セテ当日ノ盛況ヲ添フル為両検番芸妓ハ大原女姿ニテ各屋台ヲ曳キ両組合妓生ハ舞童及朝鮮楽隊ト共ニ孰レモ市中ヲ練リ廻リ会場内ニ入ラシメタリ当日開場時間ヲ一般ニ周知セシメ併セテ祝意ヲ表スル為午前十一時会場内及漢陽公園ニ於テ煙火打場ヲ合図ニ各寺院，学校，工場，汽車等ニ於テ二分間一斉ニ打鐘又ハ鳴笛セリ

◎10月1日 提灯行列

閑院宮殿下御滞京ニ付敬意ヲ表シ兼ネテ共進会開会式挙行ノ祝意ヲ表スル為メ本会及京

城府庁共同主催ノ下ニ市内各町聯合ニテ約五千人ノ提灯行列ヲ行ヒ市中ヲ廻リ会場内ニ入ラシメタリ

◎10月10日 宝探シデー

売店通路ヨリ興行場ニ至ル一帯ノ地域ニ於テ午前九時三十分ヨリ開催シ午後二時ヲ以テ締切り宝ハ一等ヨリ十二等迄二千点ヲ提供セリ

◎10月17日 婦人小供デー

婦人ニハ化粧品小供ニハ絵葉書翫具ヲ土産トシテ呈シ特設休憩所ニ於テ茶菓ノ接待ヲ為シ演芸館ニテハ観覧料ヲ低減シテ天勝一座ノ奇術，奇劇等ヲ専用観覧ニ供セリ

◎10月17日～23日 聯合売店売出シ

本会補助ノ下ニ場内各聯合売店ヲシテ福引景品附大売出ヲ為サシメタリ

◎10月21日 京竜市街山野横断競争

選手五十名ヲ選抜シ本会事務所前ヲ出発点トナシ午前十時競争ヲ開始シ第一著ハ道程四里内外ヲ一時間一分ニテ踏破シ以下二十著迄商品ヲ呈ス，当日応援ノ為メ市内ニ花自動車を運転セシム

◎10月22日～31日 演芸館福引

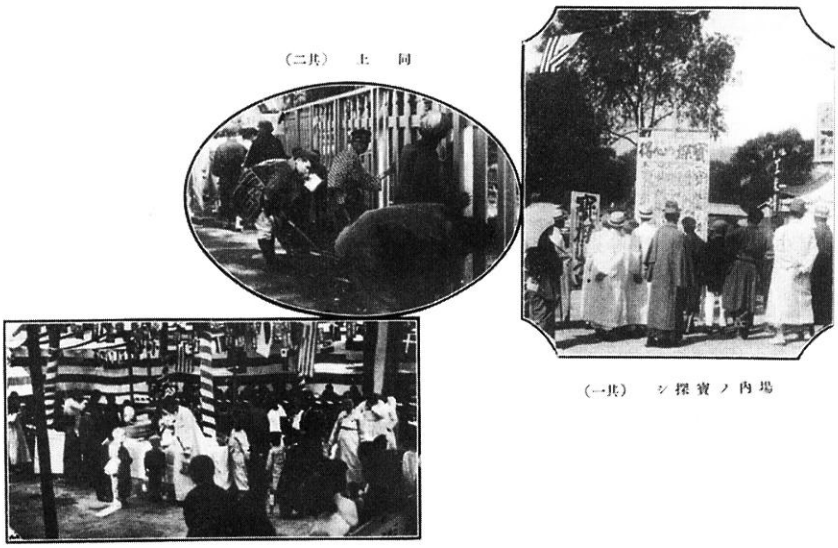
演芸館ノ景気ヲ添フル為メ昼間観覧券購求者ニ福引券ヲ呈シ一等ヨリ二十等迄景品ヲ提供セリ

◎10月23日 観月デー

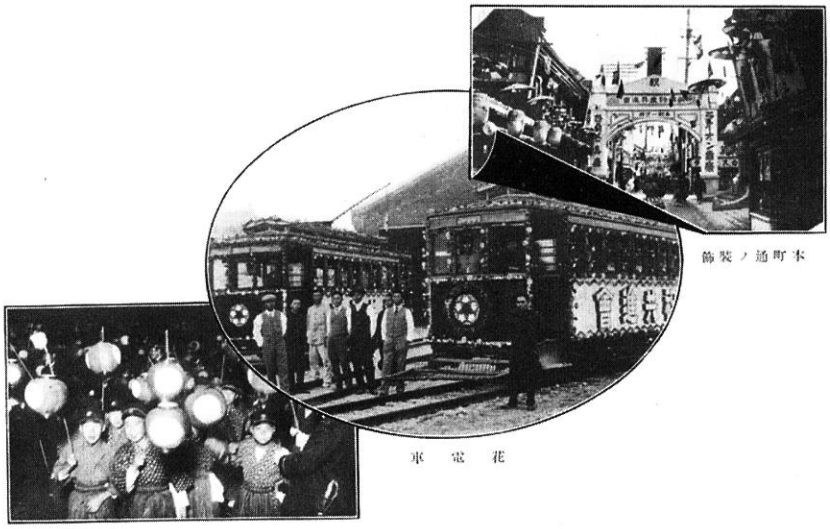
夜間入場者先著二千名ニ月見団子ヲ呈シ，本会事務所前ニテ鮮人網渡リヲ演セシメ一般ノ無料観覧ニ供シ，尚入場者ヨリ「共進会ノ月」ノ題ニテ和歌，俳句，詩ヲ募集シ一等ヨリ十等迄賞品ヲ呈セリ

◎10月24日～28日 菊花品評会

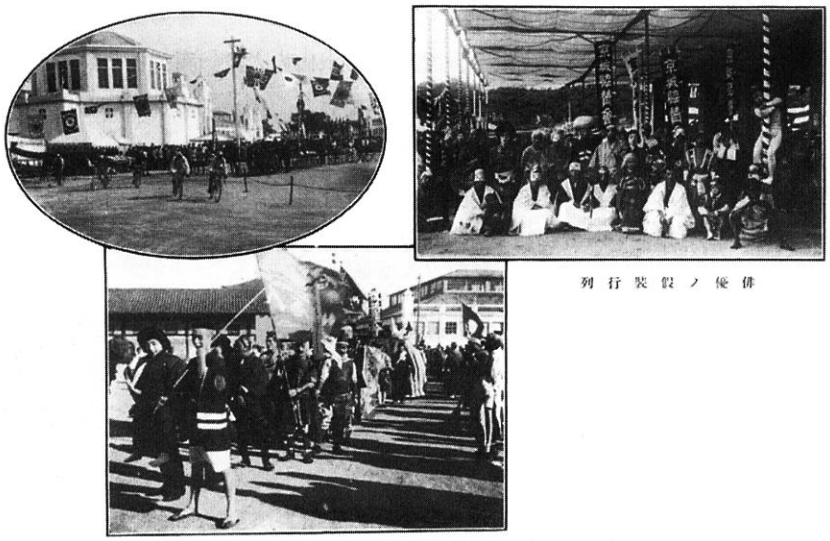
慶会楼階下ニ於テ開催シ出陳品ニ対シテハ審査ノ上一等ヨリ五等迄賞品ヲ呈ス開会中ノ総観覧人員五万三千五百八十八人ニ達セリ



図版B-5　（右上から）場内の宝探し１／同２／婦人子供デー休憩所の光景



図版B-6　（右上から）本町通の装飾／花電車／開会式当日の提灯行列



図版B-7　（上から）俳優の仮装行列／自転車競走会の光景／売店飲食店職合仮装行列

◎ 10月24日 自転車競走会

正門内西方噴水池ノ周囲ニ於テ午前十時ヨリ開催，出場選手約百五十名ニ達シ優勝者ニハ優勝旗ヲ授ケ以下夫々賞品ヲ呈セリ

◎10月25日 芸妓, 妓生総見物

場内ノ景気ヲ添フル為京城両券番ノ芸妓，妓生約四百三十名を誘引シ共進会総見物ヲ為サシメタリ

◎10月25日 仮装行列

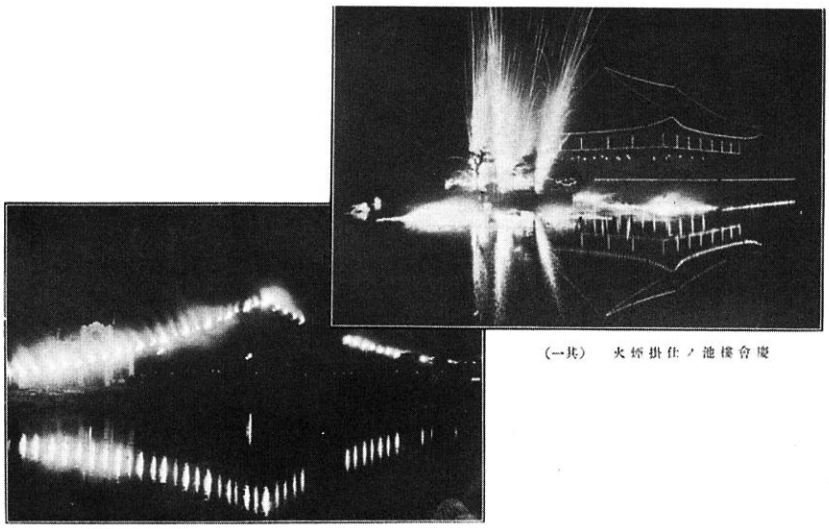
場内ニテ内地新旧俳優六十名及朝鮮俳優三十名ノ仮装行列ヲ行フ

◎10月26日 煙火デー

午後二時ヨリ夜間ニ渉リ慶会楼池畔ニ於テ開催シ百五十発ヲ打揚ゲ仕掛煙火七台ヲ装置セリ

花火に対して当時の新聞は次のように書いている。

（前略）…演芸館の活動写真と朝鮮妓生の和歌を見る人々で，体を動かしようのないほど混んでいた。女の子の曲馬と不思議館・動物園も沢山の人波。慶会楼の前に行くと，場内「三河屋」の花火が午後４時から池辺であがっていた。夜が深くなるほど花火の数はますます増え，休みなくポンポンと打ち上がった。月が明るく浮かび上がって，慶会楼の後にある松畑と池を照らす姿は，まるで絵を見るようなものだった。夜九時から協賛会の特別設備花火は，水と陸地できれいに上がり始めた。とても楽しい日曜日の夜だ。[14]



図版B-8　（上から）慶会楼池の仕掛煙火（その１・その２）

◎10月27日 共進会成功デー

本会事務所前ニ共進会成功塔ヲ建設シ塔上ヨリ福入餅撒キヲ為シ場内各売店飲食店等聯合ニテ二百余名ノ仮装行列ヲ行ヒ審査ノ上意匠ノ秀逸ナルモノ一等以下五等迄十五名ニ賞品ヲ呈シ尚場内ニテ内鮮人懸賞網引競技ヲ為サシメタリ

◎10月30日 猿ノ福撒キ

場内百三十尺ノ広告塔ト成功塔トノ間ニ網索ヲ張リ猿ノ容器ヲ往来セシメ器中ヨリ福券ヲ撒布セリ

◎ 10月31日 店員職工デー

当日入場ノ店員職工ニ対シ特設休憩所ニテ茶菓ヲ饗シ記念絵葉書ヲ呈シ 尚演芸館ヲ半額ニテ観覧セシメタリ

4. 観覧客の割合とその性格

観覧客の数は大きく二つに分けられる。まず，全体入場者として個人と共に団体観覧が多数いた。学生より一般人の入場者が最も多かったことが特徴的であった。そして，彼らのために特別臨時列車が運行され，団体割引も適用された。このように組織的な団体観覧客が全国から上京し，近代文物を直接見たので，結局彼らによっても共進会の話題は全国に広がることになったのだろう。

共進会観覧団体勧誘ニ関シテハ予テ共進会事務総長ヨリ各道長官及各府県知事ニ依頼状ヲ発セラレタルヲ以テ本会ニ於テモ之ヲ敷衍シ且其ノ接待上ノ要件ニ付照牒スル所アリ其後各所ヨリ諸種ノ照会ニ対シ夫々必要事項ヲ回答シ或ハ印刷物ヲ送付スル等専ラ其ノ勧誘ニ努メタリ会期中ニ於ケル全鮮各道及内地各所団体入京人員数左表ノ如シ

各道団体人員表

道名	普通団体	学生団体	道名	普通団体	学生団体
京畿道	26,107	19,373	慶尚北道	3,086	108
江原道	4,200	500	平安北道	1,831	119
全羅北道	2,426	155	咸鏡北道	734	Ø
忠清北道	1879	241	黄海道	5,301	221
全羅南道	2,324	103	平安南道	2,010	828
忠清南道	3,218	727	咸鏡南道	2,231	350
慶尚南道	2,403	431	合計	57,750	23,156

一方，朝鮮人だけでなく内地人の観覧も高い割合を占めていた。 全体入場者の39%を内地人が占めていることから分かるように，彼らの関心も非常に高かったのだと思われる。これは，共進会の趣旨に触れた時に述べたように，朝鮮物産を内地人に広報し，朝鮮社会を内地にもっと知らしめようとする目的で日本現地でも積極的に朝鮮半島視察団[旅行団]を募集したためであったと思われる。

図版B-9　（上から）共進会開場当日正門前群集の光景／同　切符売場前の雑踏／朝鮮人団体南大門駅到着の光景

入場客

内地人	昼 206,039	夜 93,502
朝鮮人	昼 472,503	夜 254,651
支那人	昼 3,326	夜 1,333
外国人	昼 1,705	夜 938
無料者	昼 88,953	夜 41,214
総		1,164,383名

次に，入場者の数を見ると平日よりも週末に集中していることがわかる。もちろん，入場日の開催物の中身によっても入場者の変化が見られるが，基本的には土・日曜日が平日よりも２～５倍ほど観覧客の数が増加した。すなわち，このような現象がみられる理由として，近代的時間概念が定着したこと，そしてそれに朝鮮の人々がそれを習慣として慣れ始めたことが考えられる。また，近代的余暇活用の一つとして共進会会場が利用されたということも意味しているといえる。

19日は，共進会開場以後2回目の日曜日。天気も非常に良く，爽快な秋色の空は家にいる人々の足を自然に外に向かわせる。街は人であふれており，共進会の正門である光化門の前にはすでに左右に人波がいっぱい並んでいる。他の日は，忙しくて余裕

がないし，静かに人が少なくなることを待っていた人々も，この日だけはたくさん集まった。各陣列館で興味深く陳列品を見て，考えを手帳に書く人も多い。朝鮮鉄道1千マイルの沿線風景を座ったまま見物できる鉄道館のケーブルカーは一日中，子供達でいっぱいだ。他の陣列館も人であふれて大盛況。[15]

その他にも次の新聞記事のように，節日の際には更に多くの人々が共進会会場を訪れた。その中で，婦人と子供達の入場が目立った。内外法［男は外，女は内］の伝統がまだ残っていた当時，婦人と子供を共進会会場に足を運ばせるために，前章で紹介したように「婦人小供デー」（10月17日）が設けられたのである。1907年に開かれた「京城博覧会」の際にも，婦人たちだけ入場することができた「婦人の日」が3回も開催され，大きな反響を呼んだことがある。まだ知らない男女が同じ場所にいることに対して偏見が残っていて，婦人の外出が自由ではなかった時代に，このように女性・子どもを近代文物の現場に誘導したのである。

赤，青，黄，紫，灰などいろいろな色の新しい衣裳が秋風に飛ばされ，もっと美しく見える子供たちの群れが秋夕[仲秋節; お盆の日]の日に，共進会を鮮明な彩色で染めた。お父さんやお母さん，妹やあるいは年寄りの手を握ってにこにこ笑いが止まらない。目に見えるすべてを珍しく思い，あっちこっち走り廻る姿がとてもかわいい。一年に一日の秋夕，一度逃せば二度と見物できない共進会なので，以前なら箱入りで，大小家以外には門の外を知らなかった婦人たちがこの日だけは子どもを連れて共進会にたくさん訪れた。婦人と子ども達がこのようにたくさん入ったのは，おそらく共進会開場以来初めての光景である。[16]

最後に，演芸館の入場者に対してみてみようと思う。共進会の期間中，日中（昼間）の公演には34,715人が，そして夜間公演には28,379人が入場した。演芸館の場合は，毎日その日の公演内容が変った。その中特に多くの入場者を記録した日と作品は次のようなものであった。

昼間公演

9月12日（日曜日） 1,291人入場

京城券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

茶洞の妓生舞踊 （蓮花台舞, 鳳来儀, 舞鼓）

9月19日（日曜日） 1,023人入場

中券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

広橋の妓生舞踊 （六花隊, 春鶯舞, 無碍舞）

9月25日（土曜日） 1,025人入場

中券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

広橋の妓生舞踊 （舞鼓, 蓮花台舞, 春鶯舞）

9月27日（月曜日） 1,066人入場

中券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

広橋の妓生舞踊 （鴻門宴, 演百福舞, 僧舞）

10月2日（土曜日） 1,214人入場

京城券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

茶洞の妓生舞踊 （鳳来儀, 長生宝宴舞, 双剣舞）

10月17日（日曜日） 1,098人入場

中券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

広橋の妓生舞踊 （撲蝶舞, 蓮花台舞, 僧舞）

10月24日（日曜日） 1,168人入場

京城券の芸妓舞踊 （つひのよるべ, 御代の栄）

茶洞の妓生舞踊 （寿宴長, 佳人剪牧丹, 剣舞）

夜間公演の場合は，昼間公演と同じく妓生[芸者]の公演と共に活動写真[映画]がほとんど毎日舞台に上がった。時々，日本の芸が舞台に上がって大きな反響を呼んだ。これらを中心に紹介すると次のようなものである。しかし，活動写真についてはその一部のみここでは記述することにする。

9月11日～9月13日 活動写真

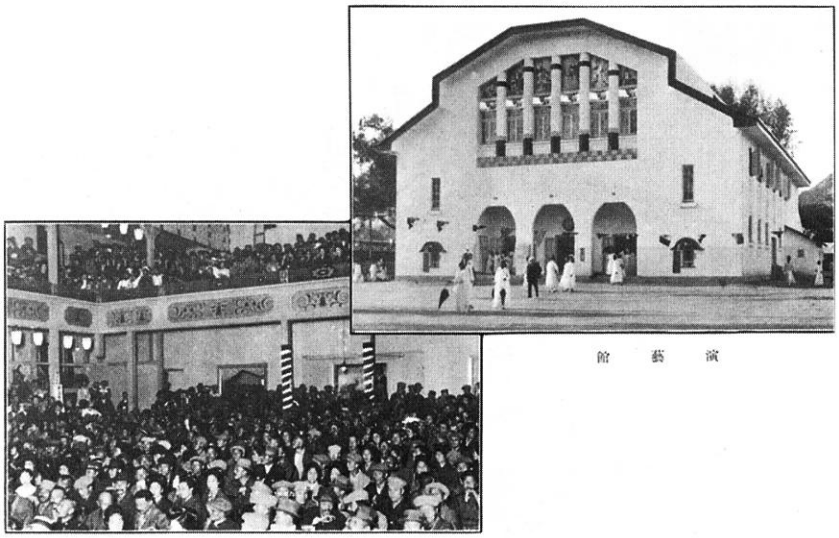
滑稽新馬鹿, 実写「イタリー」風俗, 実写仏国製材所, 喜劇ド, 先生ノ幸福

9月15日～9月17日 活動写真

実写自働車「タイヤー」製作所, 英国農業, 活劇燃ゆる列車, 正劇, 花山車

9月20日

実写日本農業, エルバ島鉄工所, 自働車タイヤー製作所, 滑稽焼餅病, 正劇看護婦



図版B-10　（上から）演芸館／演芸館満員の光景

図版B-11　（上から）新曲つひのよるべ（京城検芸妓連）／同　（中検芸妓連）

図版B-12　（上から）始政5年記念聖沢舞／撲蝶舞（同）

9月26日

実写ビール醸造, 英国海軍, 旧劇小笠原猫, 滑稽新馬鹿喰逃ゲ, 不思議卵子, 活劇暗号

10月10日～10月19日 天勝一座

大小奇術, ヴァイオリン独奏, 曲芸筒中の美人, グローイングドール, 絹中の美人, 「サロメ」劇, 二重トランク, 美人閣

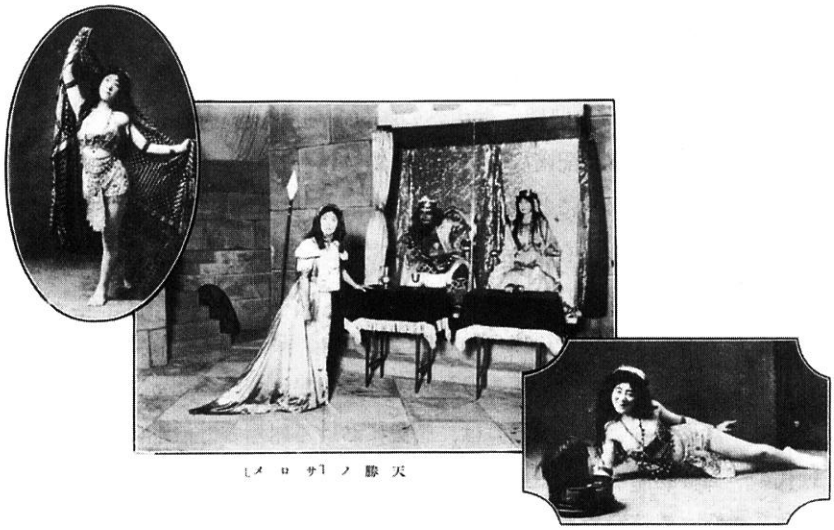
10月23日～10月26日 博多二〇加

大胆な芸者, 北来土産虎の売込, 宝探し祝ひの餅まき, 共進会以外の陳列, 三番叟(鶴亀)

10月27日～10月31日 天勝一座

お伽劇新浮れ胡弓, 大小奇術, 滑稽奇術, 筒中の美人, 指輪の変転, 「グローイングドール」, 不思議の「ドアー」, 滑稽イタヅラ「ボーイ」

これらの中で最も人気があったのは「天勝一座」の公演で，期間中に平均1,100人ほどの観客が入場した。また，特に「サロメ」劇の場合は，当時にあっては衝撃的な身体の露出で世の注目をあびた。芸能館を中心に毎日朝鮮と日本の芸者たちの公演が行われた。そして，1926年の「朝鮮博覧会」では，「マネキンガール」や「キスガール」なども登場し，



図版B-13　天勝のサロメ

大きな話題を呼んだ。このような性の商品化と深い関連のある博覧会は，性の消費が許される合法的な空間として認識されたといえる。[17]

終わりに

共進会は，朝鮮を精神と物質の二つの側面で侵奪するための実験場であり，その結果多くの人々が日本の先進技術と文明に関心を持ちはじめ，憧憬したのも事実である。そして，2回にわたった博覧会（1907年，統監府）と共進会（1915年，総督府）の開催の成功で朝鮮の植民統治は順調に定着期に入った。これで朝鮮は安定的な原料供給基地から生産基地への転換が可能になり，また日本のもう一つの内需市場としても注目されるようになった。

この論文では，1915年の「朝鮮物産共進会」について，当時の写真や新聞記事などを中心に，その実相を概観してみた。共進会の趣旨と目的は別にしても，その規模と内容面で朝鮮社会に及ぼした影響と衝撃は，非常に大きかったと言えるだろう。すなわち，近代的な文物が数的・量的に朝鮮社会を圧倒するのに十分だったし，新しくて珍しいモノは観覧客の心を虜にした。特に，夜を明るく照したイルミネーションは「光の近代」を，そして

共進会の塔と飛行機は「高さの近代」と朝鮮の人々の目に焼きつけたのである。

その中で日本は，共進会の会場である景福宮という朝鮮王朝の象徴を徹底的に破壊することによって，封建社会との訣別と近代への履行を同時に試みることができたと言える。つまり，景福宮という特権支配階層の空間を自由に出入りしながら，近代文物を直接目撃できる博覧会は，朝鮮の人々にとって非常に魅力的な体験の場であったのである。このように日本が朝鮮の顔であり，心臓部である景福宮を改造しながら植民地の完成と近代化を推進した理由の一つは，朝鮮の人々の心に与える，その衝撃効果への期待からであった。

実際に，共進会の開場式が景福宮の勤政殿で行われ，日本の寺内総督が朝鮮皇帝の代わりに王座に座り，演説をしたのである。このように植民地時代となって初めての博覧会である「施政五年記念朝鮮物産共進会」は，歴史における屈辱と，波乱の博覧会，そして屈折した近代の一面を物語っているのではないかと思われる。そして，日本は共進会・博覧会の終了後，景福宮の法殿である勤政殿と，正門である光化門との間に大規模な石造建築物を建てたのだが，それが「朝鮮総督府庁舎」であった。このように，正宮の景福宮を意図的に改造することによって，日本は植民地朝鮮の民族（国民）意識まで根本的に変革させる目的を果たそうとしたといえるだろう。[18]

注

1)『始政五年記念朝鮮物産共進会 京城協賛会報告』（京城協賛会残務取扱所, 1916）, 15～19頁 参照

2) 李泰文,「植民地時代における「朝鮮博覧会」の研究」, 東京外大大学院修士論文, 2001.9.

3) 水族館と家庭博覧会は、他の論文で扱うつもりである。

4) 1995年12月27日、韓国の政府記録保存所釜山支所は当時のマスタープランである「景福宮内敷地及び官邸配置図」を公開した。その図面によると総督府は、既に景福宮に総督府庁舎と公園敷地を策定したことが分かる。具体的には、宮闕を全て撤去しその場に総督官邸、官吏たちの官舎、そして広場、野外音楽堂、噴水、花壇、ゴルフ場などを設置する計画であったが、これは東京の日比谷公園を参考とした。

5)『朝鮮案内』（施政五年記念朝鮮物産共進会, 1915）参照。

6) 總督府施政以前의 朝鮮半島를 도라보면 恒常東洋禍亂의 根源이 되야 民衆은 塗炭에 빠지고 山野는 荒廢ㅎ며 産業은 萎靡ㅎ야 國運이 날마다 그릇되는 모양임으로써 聰明英智ㅎ신 先帝陛下의셔는 世界의 大勢를 숨히시고 韓國皇帝가 統治權讓渡ㅎ시는 希望을 嘉納ㅎ샤 東洋의 平和를 永遠히 保障ㅎ실 마음으로써 韓國併合의 큰 일을 斷行ㅎ시고 不肖로 ㅎ야곰 朝鮮統治의 重任을 맛기심이 나가 德이 薄ㅎ고 智識이 淺短ㅎ나 이 重任을 지고…(中略)… 既往 五年間의 進步를 具體的으로 보게 ㅎ는 것은 産業을 鼓舞奬勵ㅎ는 最近의 捷徑이오 또 朝鮮을 世上에 紹介ㅎ는 죠흔 方法이라 빅번 드러도 한번 보는

것만 못ㅎ다ㅎ얏스니 縷縷히 千萬言을 베풀지라도 다만 一個의 實物을 뵈이는 것만 갓지못ㅎ지라 이러ㅎ 意味로 解釋ㅎ면 共進會는 奬勵ㅎ는 말의 千萬마디보다 勝ㅎ 것이 丁寧ㅎ니 共進會開催의 目的이 實로이에 잇도다.

十三道의 여러가지 物産을 한 곳에 蒐集ㅎ고 事事物物이 그 實地에 對ㅎ야 其進步를 比較明示ㅎ면 事理에 通達치 못ㅎ는 婦人小兒도 한번 보고 能히 新政의 効果를 알지라 今日에 입으로 新政의 効果를 말ㅎ는 都人士도 往往 그 進步의 眞相을 알지 못ㅎ는 者ㅣ 잇거든 하물며 遐方人民이리오. 이제 共進會場에 蒐集ㅎ 物産은 아마 數萬點以上일터인데 旣往五年間에 시로 勃興ㅎ 農産工藝品이 쟈못 만흐니 이것을 實地로 目擊ㅎ는 內地人과 朝鮮人은 衷心으로 勸勉力行의 効果를 찌닷고 將來에 더욱 奮勵ㅎ는 勇氣를 鼓發ㅎ지오…(中略)…

朝鮮에서 生産ㅎ는者는 반다시 朝鮮人의 需要를 기다림이 안이오 輸出貿易을 增進ㅎ야써 國家를 富裕케 ㅎ에 잇스니 共進會를 觀覽ㅎ는者는 반다시 여긔에 注意ㅎ야써 儉素ㅎ 德을 毁損ㅎ이 업시 더욱 産業을 힘쓰고 輸出貿易을 豊富히 ㅎ야써 朝鮮의 面目을 시롭게ㅎ면 이에 共進會 開催의 目的을 達ㅎ지니 이것이 너가 朝鮮에 在留ㅎ는 內地人과 朝鮮人에게 切望ㅎ는바ㅣ로다.

寺內總督, <共進會를 開催ㅎ는 目的>,『每日申報』1915年9月4日。

7) 大凡共進會라던지 博覽會라던지 그 開催에 當ㅎ야 當局者의 目的됨은 곳 精細히 物産을 蒐集ㅎ야 넓히 人民에게 뵈여 産業의 改良發達을 도모ㅎ고 兼ㅎ야 人民間에 勤儉力行을 養成ㅎ에 잇고 同時에 또 多數ㅎ 스름을 招致ㅎ야 그 土地를 興旺케 ㅎ에 잇스니 總督府의 共進會 開催趣旨는 半島將來의 産業開發을 期必ㅎ으로써 直接의 目的을 삼을 뿐안이라 또 間接의 目的으로 朝鮮의 民衆으로 ㅎ야곰 安逸을 避ㅎ고 奢侈를 삼가 拮据勉勵ㅎ면 國富의 增進과 個人의 福利가 顯著ㅎ을 알게 ㅎ에 잇스니 이 共進會에서 現今 朝鮮의 狀勢가 過去 五年의 歲月에 엇더케 된 所以를 알지오 朝鮮全般의 進步ㅎ 形跡은 巨細업시 展示되야 一目瞭然ㅎ게 되리로라

<始政五年間의 朝鮮發展>,『每日申報』1915年9月5日。

8)『朝鮮案内』(1915) 参照。

9) 텰도특설관안의「케불카」식 관니순람텰도의 두자 광궤도가 준공되야 작란감 又혼 죠곰아ㅎ 차가 두셔넛이 지료를 실고 운전ㅎ는 모양은 특히 눈이 씌이더라.

<庶幾竣成>,『每日申報』1915年8月15日。

10) 이십일 밤브터 밤에도 기관ㅎ기로 ㅎ 텰도특설관 매일야의 성황을 보고져 ㅎ야 방문ㅎ니 처식을 극진히 ㅎ야 꿈이여노은 관니에는 던등이 휘황ㅎ게 빗나며 아리층 량편에「지오라마」식으로 그려니인 경원선과 호남선 압헤는 관긱이 렬을 지여 못밧又치 쑴여 노은 텰도연선을 밤차에 안져 구경ㅎ는 듯이 천천이 밀녀나가는디 경원선의 석왕ᄉ(釋王寺) 금강산의 경치를 바라보는 근처와 호남선의 미륵대불과 군산 목포를 한눈에 바라보는 근처는 몸 하나 꿈작ㅎ 슈 업게 모여 셧더라「케불카」는 밤에는 운던ㅎ지 안이라ㅎ고로 션로를 써러 모형 경부선을 남대문부터 올너간즉 이 곳에도 관긱의 힝렬이 꼭 챠셔 조금식 조금식 밀니여 나가게 되얏는디 연선의 풍광은 낫에 보는이보다 한층 고읍게 되야갓치 실경을 보는 듯ㅎ더라 대구 시장의 장관을 거쳐 락동강안 밀양의 풍광을 보면셔 수산에 이르니 몸은 언의틈에 이층우에 잇는지라 장식던의 빗갈이 공진회장 니외에 못又치 빗나며 벼울갓치 반작거리는 것을 보고 참아 견디지 못ㅎ는듯이 그 군중들이 삼층우의 옥샹뎡원으로 올너간다 랑간에 의지ㅎ야 사방을 바라보니 실로 경셩시가는 불야셩이라는 말이 올토다.

<彩光中에 周遊一千哩>,『每日申報』1915年9月22日。

11)『始政五年記念朝鮮物産共進会 京城協賛会報告』(1916) 参照。

12) 흥행장구역의 죠션연극장에도 낫에는 광대의 가곡이 잇는디 감창환, 리동빅의 립챵으로 손을 만히 끌며 밤에는 일곱시 반부터 시곡미인의 뎡지이라 미일 만원의 큰 성황으로 여러가지 춤과 뎡지로 만히 멀니온 손님의 이목을 질겁게 ㅎ는 모양이오.

『每日申報』1915年9月16日。

13) 남대문 던광식의 시험

이일 오후 팔시경이 되야 별안간에 남대문이 못밧으로 변ㅎ고 지나가던 사름들이 거름을 머물느고 치여다보더라 이는 금

년 가흘에 기최될 공진회중에 경성의 큰문을 장식ㅎ는 남대문의 던긔장식을 시험뎍으로 켜 본 것이더라 멀니셔 바라보면 찬란ㅎ 중에도 은은ㅎ 그 광경이 맛치 녯날브터 말ㅎ는 룡궁을 보는 듯ㅎ더라 이는 일ㅎ와스회샤의 공스로 오촉광을 부빅기나 스용ㅎ얏다는딕 그 디금은 한기에 륙천인즉 하로밤에 오십스원식 드는 계산이라더라.

『每日申報』 1915年8月4日

군악디 소리에 ㅁㅇ이 달쓰며 던긔등 광치에 눈이 부시다 집안에 드러잇고져ㅎ나 좀이 쑤시여 홀 슈 업시 티평동 밝은 길로 나셔니 넓은 길의 량편에는 큰 뎨등들이 줄을 맛츄어 심은 아가시아의 푸른 빗과 셔로 빗최여 미일신보의 던광장식ㅁㅁ지 련ㅎ얏다 티평동 입구에는 죠선공론과 기린믹쥬 년합의 큰문이 남대문 문루에 켜 잇는 구빅기의 던등에 빗츄여 외연히 셔 잇는딕 본샤 압ㅁㅁ지 광치 속으로 천천히 거러온 즉 ㅈ동쥬악긔의 쥬악이 수빅간되는 이편에셔부터 들닌다…(중략)…은은히 들니는 음악소리 몸도 한가 마음도 한가ㅎ더라 여흥장의 번화ㅎ 속을 한번 도라 영츄문에 다다르니 때는 열 한시라 요스이의 경성은 잠잘 틈도 업는 즐거운 곳이요 불야성이라홈은 춤 경성을 두고 ㅎ 말이라 ㅎ겟더라.

<不夜의 城에 無窮의 歡>, 『每日申報』 1915年9月16日

14) 연예관의 활동사진과 죠션 기싱의 일본노리를 보고 듯는 사름도 빈틈업시 드러셧고 계집ㅇ히의 곡마와 불스의관 동물원도 가득ㅎ더라 경회루 압흐로 나가본 즉 장니 삼사옥[三河屋]의 ㅈㅈ불이 오후 네시부터 물식의 회회양양하게 노는 경회루 연못가에셔 울니며 밤이 깁허 갈스록 이 ㅈㅈ불의 수는 졈졈 더ㅎ게 되야 거위 간단이 업시 탕탕ㅎ더라 때에 비가 불너오는 열하로 달이 밝게 소셔 경회루 뒤의 솔밧과 못을 비치우는 모양은 완연히 그림을 보는 듯 ㅎ딕 밤 아홉시부터 협찬회의 특별설비 ㅈㅈ불은 물과 륙디에셔 고옵고 고옵게 올너가더라 아- 질거운 일요일의 밤이여.

<慶會樓畔의 玲瓏ㅎ 花火>, 『每日申報』 1915年9月21日。

15) 십구일은 공진회 기회문 후 둘지번의 일요일이오 겸ㅎ야 일긔가 미우 청량ㅎ야 상쾌ㅎ 가을 긔운이 집안에 잇는 사름으로 ㅎ야곰 저절로 나가도록 흥을 일으켜 주는고로 가로에 샤름이 미우 만히 나와 공진회 정문의 광화문 압흔 좌우의 인도가 사름으로 가득이 모혓더라 다른 날에는 분주ㅎ야 틈이 업고 쏘ㅎ 종용히 ㅁㅇ을 드려보고져 아직 사름이 적이 감ㅎ기를 기다리던 사름들도 이 날은 만히 출동ㅎ야 각 진렬관에 가득ㅎ 관람자 중에 가장 열심으로 진렬품을 유의ㅎ여 보며 쏘ㅎ 긴요히 싱각ㅎ는 것을 슈첩에 필긔ㅎ는 사름도 만히 보겟고 죠션텰도 일천마일의 연션풍경을 안져서 구경ㅎ는 텰도관의 「케불카」는 종일 ㅇ히들로 만원이오 기타 각 진렬관도 사름이 가득 가닥ㅎ 대셩황.

<海의 人을 迎ㅎ는 日曜日>, 『每日申報』 1915年9月20日。

16) 붉은 빗, 푸른 빗, 누른 빗, 연두, 보라, 회식 등 각식의 시의상이 가을바름에 훗날리여 아름다운 ㅇ히의 무리가 츄셕날 공진회 일면에 션명ㅎ 치식을 더ㅎ얏더라 아버지나, 어머니나, 누의이나 혹은 로인의게 손을 잡히며 혹은 늙은 부인의 거름을 짜라오면서 벙글벙글 우슴을 긋치지 못ㅎ고 모도 눈에 보이는 것이 이샹스러워 필필 뛰며 도라단이는 모양은 무엇이라 귀엽다고 말홀 수 업더라 일년에 하로 지나는 츄셕명졀이오 한번 놋치면 다시 구경ㅎ기 어려울 공진회이라 이젼에 규중에 깁히 안져 대쇼가이외에는 대문밧글 아지 못ㅎ던 부인네들도 이 날은 ㅈ녀를 다리고 공진회 구경ㅎ라 모혀온 이가 극히 만하 부인과 아히가 이러케 만히 드러오기는 아마 공진회 기쟝이러 처음 일일듯ㅎ더라.

<絢爛ㅎ 仲秋日의 會場>, 『每日申報』 1915年9月24日。

17) 博覧会と性の関係を述べたこの本は、ストリップショーの出現を博覧会に求めている。荒俣 宏, 『万博とストリップ』 (集英社, 2000) 参照。

18) 博覧会の展示場及び施設の配置から、展示品のディスプレイまですべてが、高度な技術によって人々に権力のイメージを与えるように工夫されているとの研究もある。榎並重行・三橋俊明『細民窟と博覧会』 (JICC出版局、1989年) 参照。

参考文献

『毎日申報』毎日申報社。
『朝鮮案内』施政五年記念朝鮮物産共進会，1915。
『始政五年記念朝鮮物産共進会 京城協賛会報告』京城協賛会残務取扱所，1916。（図版B・C）
『始政五年記念朝鮮物産共進会 写真帖』村上写真館，1915。（図版A）
園田英弘，「博覧会時代の背景」『万国博覧会の研究』思文閣出版，1986。
榎並重行・三橋俊明，『細民窟と博覧会』JICC出版局，1989。
荒俣 宏，『万博とストリップ』集英社，2000。
李泰文，「植民地時代における「朝鮮博覧会」の研究」東京外大大学院修士論文，2001。